## 次元変換光コムを用いたスキャンレス・フルフィールド 共焦点顕微鏡の開発(3)~2次元共焦点イメージの取得~

Scanless, Full-field, Confocal Microscopy Based on Dimension Conversion in Optical

Frequency Comb (3) ~ Acquisition of a 2D confocal image ~

## ○ 長谷 栄治<sup>1,2</sup>、宮本 周治<sup>1,2</sup>、南川 丈夫<sup>1,2</sup>、山本 裕紹<sup>2,3</sup>、安井 武史<sup>1,2</sup>

(1. 徳島大学、2. JST, ERATO 美濃島知的光シンセサイザ、3. 宇都宮大学)

<sup>o</sup>Eiji Hase<sup>1, 2</sup>, Shuji Miyamoto<sup>1, 2</sup>, Takeo Minamikawa<sup>1, 2</sup>, Hirotsugu Yamamoto<sup>2, 3</sup>, Takeshi Yasui<sup>1, 2</sup>

(1.Tokushima Univ., 2. JST, ERATO MINOSHIMA Intelligent Optical Synthesizer, 3. Utsunomiya Univ.)

E-mail: hase@femto.me.tokushima-u.ac.jp http://femto.me.tokushima-u.ac.jp/

我々は、レーザースポットの機械的走査が不要な共焦点 顕微鏡を実現する手段として、光コム[1]を用いたスキャン レス共焦点顕微鏡の開発を行っている[2-4]。光コムは、多 数の狭線幅光周波数モード列が等間隔で櫛の歯状に立ち並 んだ超離散マルチスペクトル構造を有しており、これまで は光周波数の物差しとして使われることが多かった。しか しここでは、膨大な数の光チャンネルが離散的に分布し、 大量情報を重畳できるキャリア光として利用することを提 案する。具体的には、光コムが有する膨大な数の光周波数 モードに対して、2次元波長分散素子による波長/2次元平 面変換機能を適用する。その結果、光周波数モードと画素 を1対1対応させることが可能になり、2次元イメージ情 報を光コムのモード分解スペクトルにエンコードできる。 デュアル光コム分光法[5]によって取得したモード分解スペ クトルから2次元イメージ情報をデコードすることにより、 スキャンレスに2次元共焦点イメージを取得することが可 能になる。前回の発表では、2次元共焦点イメージの取得 に向けて、VIPA (Virtually Imaged Phased Array) [6]と回折 格子を組み合わせた2次元波長分散光学系[7]の構築につい て報告した[4]。今回の発表では、構築した2次元波長分散 光学系とデュアル光コム分光法を用いることで、2次元共 焦点イメージの取得に成功したので報告する。

図1に実験の概念図を示す。Er ファイバー光コム (v<sub>c</sub>= 193 THz, *Av*=1.5 THz, *f<sub>rep</sub>*=250 MHz)から出力されたレー ザー光は、VIPA (FSR=15 GHz, フィネス=100)と回折 格子 (1200 本/mm)から構成される2次元波長分散素子に よって、各波長成分が2次元空間に展開された後、対物レ ンズにより、波長毎に異なる位置に集光されたレインボー ビームの2次元焦点群をサンプル上に形成する。その結果、 サンプルの2次元イメージ情報(ここでは反射率)が光コ ムのスペクトルに重畳される。サンプルからの反射光は、 2次元波長分散素子の逆伝播により、各波長成分が再び空 間的に重ね合わされ、共焦点ピンホールを通過した後、デ ュアル光コム分光法(*Af<sub>rep</sub>*=2666 Hz)によりそのスペクト ルが計測される。

図2(a)にモード分解スペクトル波形から再構成したテス トチャートの反射イメージ(600 µm\* 100 µm, 60 pixel\* 60 pixel)を示す。図2(b)は、サンプル背面に InGaAs カメラ を配置し、取得した同一部分の透過イメージを示している。 両者の比較から、図2(b)の赤破線領域の構造を反映したイ メージが、図2(b)では可視化出来ていると考えられる。ま た、テストチャートの奥行き位置を対物レンズ焦点位置か ら10 µm 変化させたところ、イメージの強度が大きく減少 し画像化されなかったため、高い奥行き分解能を有する2 次元共焦点イメージが取得できていることが確認出来た。





[1] J. Ye *et al.*, "Femtosecond Optical Frequency Comb: Principle, Operation, and Applications", Springer (2005).

[2] 長谷他、第76回応物学会秋季学術講演会、13p-2G-14(2015).

[3] 長谷他、第63 回応物学会春季学術講演会、21a-H116-11 (2015).

[4] E. Hase et al., CLEO 2016, SW1H.3 (2016).

[5] I. Coddington *et al.*, Optica **3**, 414 (2016).
[6] M. Sirasaki *et al.*, Opt. Lett. **21**, 366 (2006).

[7] S. A. Diddams et al., Nature 445, 627 (2007).